

# 東京の まちづくり

特集1 春夜の六義園 夜間特別観賞

特集2 隅田川のにぎわいスポットに行ってみよう!  
～隅田川を中心とした河川空間のオープン化～

特別特集 夢熱イースター展



春夜の六義園 フォトスポット(昨年の様子)



春夜の六義園 夜間特別観賞



隅田川のにぎわいスポット  
(すみだがわオープンテラス)

## 春夜の 六義園 夜間特別観賞



六義園では、桜の開花に合わせ、普段は閉園している夜間に特別開園し、主景観のひとつの「中の島」や、「吟花亭跡」<sup>ぎんかてい</sup>、「水香江」<sup>すいこうのえ</sup>などの各スポット、六義園のシンボルである「しだれ桜」のライトアップなどを行います。



しだれ桜



土蔵ジェクション



お抹茶セット(イメージ)

### 開催日時

令和8年3月中旬から下旬の連続した1週間程度  
18時30分～21時(最終入園は20時)

※開催日は開催の約1週間前に決定します。  
決定次第、特設サイトにてお知らせします。

### 入場方法

夜間特別観賞券を購入してご入場ください。

- 前売券 1,000円(オンライン販売のみ)
- 当日券 1,200円(オンライン・窓口販売)

※1日のチケット販売数には限りがあります。  
※詳細は特設サイトをご確認ください。



### 特設サイト

[https://www.tokyo-park.or.jp/special/rikugien\\_lighting\\_spring/index.html](https://www.tokyo-park.or.jp/special/rikugien_lighting_spring/index.html)



特設サイト

### 問合せ

六義園サービスセンター  
TEL : 03-3941-2222(9時～17時)



### シロテテナガザルの親子

上野動物園 東園飼育展示係

上野動物園では現在、令和6年に来園したペアとその子ども3頭のシロテテナガザルを飼育しています。

ペア(両親)は別々の動物園からきました。格子越しでの反応がよく、すぐに同居することができました。テナガザル特有の大きくよく通る歌声はオスが発するばかりで、メスはまれに歌う程度でした。一般的なペアは2頭で歌う「デュエット」をすることが多いため心配しましたが、相性は問題なかったようで令和7年8月24日に子どもが生まれました。

母親は初産でしたが、出産直後からしっかりと子どもを抱きかかえ、子どももか細い腕ながらしっかりと母親につかまっていた。出産当日は安静にするため寝室だけで過ごさせましたが、落ち着いていたため翌日からは父親も含めた親子3頭での展示を開始しました。

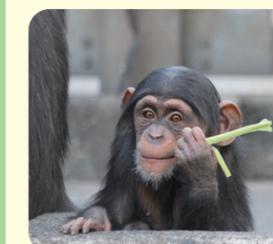
展示場で母親は、出産前と変わらず枝から枝へ雲梯のように渡る腕渡り(ブラキエーション)をしており、子どもが落ちまいと精いっぱい母親をつかんでいたのが非常に印象的でした。

父親も興味をもち、子どもに触ろうとしていましたが、母親が警戒してなかなか触らせてもらうことは出来ませんでした。

その後、日を追うごとに母親も落ち着き、少しずつ父親にも触らせるようになっていきました。最近では父親が子どもを抱きかかえていることもあります。テナガザル類は通常、生涯同じペアで過ごし、父親も子育てに参加すると言われています。

親子ともに日々成長し、変化していますので上野動物園にお越しの際にはぜひご覧いただければと思います。

### 動物園の“かお” 多摩動物公園 チンパンジー



令和6年生まれ、もうすぐ2歳の「シジミ」は、まだまだかわいい盛りです。他4頭の子と運動場の高い所で追いかっこをしたり、大人をからかったりして遊んでいます。母親「ミル」だけでなく、いつも近くで見守る他の大人とのかかわりもぜひご覧ください。